

**忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略
(平成28年度)
効果検証シート**

平成29年6月

目次

項目						ページ
シートの見方						1
対象事業						ページ
基本目標	基本方針	具体的施策	主な施策	担当部課名	効果検証シートNo.	
基本目標1: 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)	安心して子どもを産み育てられる仕組みの運用	1-①-1 子どもと親の健康づくりの推進	★妊婦・乳児健診の実施 ★相談窓口の設置 ★子どもの栄養指導	健康福祉部保険課 健康福祉部保険課 健康福祉部保険課	①-1	2
		1-①-2 妊娠・出産・子育てに対する情報提供・相談	★子育てに関する指導・相談(子育て教室、ベビマクラブ、マタニティクラブ等) ★学校教育に関する相談	健康福祉部保険課、教育部子育て支援課 教育部学校教育課		4
		1-①-3 妊娠・出産・子育てに対する支援	★特定不妊治療費の助成 ★子ども医療費の助成 ★忠岡あすなろ塾事業 ★ひとり親家庭に対する助成	健康福祉部保険課 教育部子育て支援課 教育部学校教育課 教育部子育て支援課	①-3	6
		1-①-4 子ども預かり制度の拡充	★延長保育の実施 ★待機児童の解消 ★放課後子ども教室(キッズクラブ)、児童教室、留守家庭学級の運営 ★放課後子ども教室(キッズクラブ)や児童教室における活動発表の場となるイベントの開催	教育部子育て支援課 教育部子育て支援課 教育部生涯学習課 教育部生涯学習課	①-4	8
	魅力ある教育の推進	1-②-1 学校における多様な人材の活用	★学力向上や生徒指導のためのサポーター、非常勤講師、社会人等指導者、スクールカウンセラーの配置 ★小学校への司書の配置	教育部学校教育課 教育部学校教育課	①-5	10
		1-②-2 英語教育の充実	★忠岡町独自の英語教育方法(忠岡メソッド)の確立 ★町全体で英語にふれあえる機会の提供(英語体験セミナーの開催、英語検定受験料の補助等) ★外国青年語学指導員の配置	教育部学校教育課 教育部学校教育課 教育部学校教育課	①-6	12

Ⅱ

基本目標	基本方針	具体的施策	主な施策	担当部課名	効果検証シートNo.	ページ
	子育て環境の向上	1－②－3	★公共施設等の見学の実施	教育部学校教育課	①-7	14
		キャリア教育の推進	★職場体験学習の実施	教育部学校教育課		
		1－③－1	★保育所(園)・幼稚園の開放・連携・整備	教育部子育て支援課	①-8	16
		子育て関連施設の充実	★遊び場所・集いの場の整備	教育部生涯学習課、子育て支援課、産業まちづくり部建設課		
		1－③－2	★子どもの安全見守り隊等の設置・運営、ボランティアへの支援	教育部生涯学習課	①-9	18
		子どもの安全・安心の確保	★青少年健全育成のための指導員の委嘱や活動団体への助成	教育部生涯学習課		
基本目標2: 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～	健康福祉の充実	2－①－1	★各種健康診断の実施と受診状況の把握	健康福祉部保険課	②-1	20
		健康づくりの推進	★感染症予防接種の実施と接種状況の把握	健康福祉部保険課		
			★健康教室やイベントの開催	健康福祉部保険課		
			★健康相談の実施	健康福祉部保険課		
			★救急医療機関への助成	健康福祉部保険課		
		2－①－2	★関連活動団体への支援	健康福祉部いきがい支援課	②-2	22
		高齢者・障がい者(児)等福祉の充実	★高齢者ケアマネジメントの実施	健康福祉部いきがい支援課		
			★障がい者支援のための相談	健康福祉部いきがい支援課		
			★障がい者就労のための支援	健康福祉部いきがい支援課、産業まちづくり部産業振興課		
			★福祉バスの運行	健康福祉部いきがい支援課		
			★建築物のバリアフリー化	健康福祉部いきがい支援課、教育部生涯学習課、町長公室自治政策課、		
	地域の安全と安心の向上	2－②－1	★防災・避難訓練等の実施	町長公室自治政策課	②-3	24
		防災対策の充実	★自主防災組織への支援	町長公室自治政策課		
			★災害備蓄品の充実	町長公室自治政策課		
			★災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定	町長公室自治政策課		
			★耐震化のための助成	産業まちづくり部建設課		

基本目標	基本方針	具体的施策	主な施策	担当部課名	効果検証シートNo.	ページ								
		2－②－2 防犯対策の充実	★防犯カメラの整備 ★防犯パトロールの強化 ★防犯に関する啓発	町長公室自治政策課 町長公室自治政策課 町長公室自治政策課	②－4	26								
		2－②－3 交通安全対策の充実	★交通安全施設の整備 ★交通安全教室の開催 ★迷惑駐輪・駐車に対する指導・啓発、放置自転車の撤去	産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課			②－5	27						
		2－②－4 消防・救急救命体制の充実	★地域の担い手となる若手消防団員の確保 ★消防資機材等の整備	消防本部消防総務課 消防本部消防総務課					②－6	28				
		生涯にわたっての生きがいがづくり	2－③－1 生涯学習・生涯スポーツの推進	★生涯学習プログラムの実施 ★生涯学習関連活動団体への支援 ★活動団体の発表と交流のためのイベントの実施支 ★生涯スポーツ関連活動団体への助成 ★スポーツイベントの開催	教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 教育部生涯学習課	②－7					30			
			2－③－2 自治会活動の活性化	★自治会活動への助成	町長公室自治政策課		②－8	32						
			2－③－3 地域文化・芸術活動の推進	★町民文化祭の開催支援 ★町民音楽祭の開催支援	教育部生涯学習課 教育部生涯学習課				②－9	33				
			快適で利便性の高い生活の実現	2－④－1 居住環境の向上	★河川環境保全の推進、美化活動団体への支援 ★みどりのカーテン事業等の緑化事業 ★道路や公園等の屋外広告物の撤去及び美化運動							住民部生活環境課 住民部生活環境課 住民部生活環境課	②－10	34
				2－④－2 生活・都市基盤の整備	★公園等の適切な維持管理、道路等の緑化 ★道路等の公共施設の適切な維持管理 ★上下水道施設の老朽化対策							産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部水道課、下水道課		

IV

基本目標	基本方針	具体的施策	主な施策	担当部課名	効果検証 シートNo.	ページ
基本目標3: 安定した雇用を育む まち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめ として、個人の目標に 応じてレベルアップが できるまち～	地元企業の発展と住 民の雇用促進	3-①-1 企業への支援	★中小企業振興資金利子の補給 ★企業HP作成のための助成 ★小売業振興のための助成 ★忠岡町特産品の展示	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	③-1	38
		3-①-2 住民雇用に対する企業支援	★町内企業が町在住の若者を正規雇用した場合の 賃金の一部助成	産業まちづくり部産業振興課	③-2	39
	就労に有利な技術獲 得、新規創業や女性 就業の促進	3-②-1 就業者及び起業・創業者 への支援	★就職相談や求人情報の提供 ★就職フェアや就労セミナーの開催 ★労働相談の実施 ★地元就業者の交流の場の提供 ★忠岡町での創業支援	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	③-3	40
		3-②-2 就労に向けた能力向上支 援	★国家資格取得のための受験料の助成 ★就職困難者と勤労者のスキルアップのための技 術講習等受講の助成	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	③-4	42
		3-②-3 女性の働く機会の拡大支援	★就職相談や求人情報の提供 ★資格取得を目的とした専門講座の開設	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	③-5	43
	住みたい、住み続け たいと感じるインセン ティブの付与	4-①-1 定住・移住促進のための 支援	★子育て世帯等への住宅取得の助成 ★子育て世帯等への住宅リフォームの助成	産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課	④-1	44
		4-②-1 忠岡町の魅力づくり	★ウォーキングコースの整備とイベントの開催 ★地域の歴史・文化資源(だんじり祭、正木美術館) の魅力発信事業 ★みなとマーケットの活性化	教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 産業まちづくり部産業振興課	④-2	46
		4-②-2 忠岡町の魅力発信	★忠岡町イメージキャラクターの各種イベント参加及 び貸出し ★忠岡町イメージキャラクターデザインの有効利用 の促進	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	④-3	48
基本目標4: 訪れたい、住みたい、住 み続けたいまち(交流) ～子育て世代が移住 したくなるまち～	忠岡町の魅力づくりと 発信	4-①-1 定住・移住促進のための 支援	★子育て世帯等への住宅取得の助成 ★子育て世帯等への住宅リフォームの助成	産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課	④-1	44
		4-②-1 忠岡町の魅力づくり	★ウォーキングコースの整備とイベントの開催 ★地域の歴史・文化資源(だんじり祭、正木美術館) の魅力発信事業 ★みなとマーケットの活性化	教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 産業まちづくり部産業振興課	④-2	46
		4-②-2 忠岡町の魅力発信	★忠岡町イメージキャラクターの各種イベント参加及 び貸出し ★忠岡町イメージキャラクターデザインの有効利用 の促進	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	④-3	48

新規施策事業			
事業名	担当部課名	効果検証 シートNo.	ページ
忠岡町ブランド創造事業	町長公室自治政策課	⑤-1	50
泉州地域観光DMO事業	町長公室自治政策課	⑤-2	52

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート【見方】

No.	① 効果検証シートの番号を記載しています。				
基本目標	② 4つの基本目標のいずれかを記載しています。				
具体的施策	③ 28個の具体的施策のいずれかを記載しています。				
決算額	平成28年度に本事業に支出した金額を記載しています。				
KPI	H28年度達成率	評価※1	H27年度	H28年度	H29年度
④ 年度または事業最終年度(平成31年度)におけるKPIを記載しています。	⑤ 年度の達成率を記載しています。	⑥ 年度の評価を記載しています。	目標値	各年度の目標値または、最終年度の目標値を記載しています。	
			実績値	各年度の実績値を記載しています。	
主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
⑦ 具体的施策で示している主な施策を記載しています。	⑧ 担当課を記載しています。	決算額	決算額	決算額	各年度の決算額を記載しています。
		決算額	決算額	決算額	

評価 ※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

事業目標・概要 【PLAN】	事業の実施を通じてどのような状態になることを目指しているのかを記載しています。
実績 【DO】	前年度中に、具体的にどのような事業を行い、どのようなサービス等を提供したのかを記載しています。
事業内容評価・分析 【CHECK】	前年度の取組について、指標の達成状況や指標で表せない成果等を踏まえて、意図した状態にどのくらい近づいているか、本事業の進捗状況を評価しています。
今後の方向性 【ACTION】	今後の事業の取組方針(改善点、変更点、留意点等)を記載しています。

効果検証会議による評価	
意見	⑥ 平成28年度の取組状況の評価、今後の課題・改善すべき事項や今後の取組方針等について、効果検証会議の意見を記載しています。
総合評価 ※2	

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

効果検証会議による評価	
意見	・何故、乳幼児2歳6ヶ月児健診の受診率が低くなったかを分析し、その他の健診受診率と同程度になるように取り組んでもらいたい。

【CHECK】	減を図った。健診においては、受診対象者もほぼ受診しており、乳幼児、妊婦の疾病、障害の早期発見に努めるとともに、子育てや健康に関わる保護者、妊婦からの相談に随時対応し、不安の軽減、問題の改善のための支援を行った。
今後の方向性 【ACTION】	妊婦健診については、公費負担額を国基準に据え置き、妊娠期からの相談体制の強化を図る。乳幼児健診については、今後も継続して実施し、受診しやすく、来所しやすい環境づくり、相談しやすい体制づくりにより一層努めていく。

総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	①-2			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1ー①-2 妊娠・出産・子育てに対する情報提供・相談			
決算額	8,818,000円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
子育てに関する各種教室参加人数：1,800人／年		160.2%	◎	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
子育てに関する指導・相談(子育て教室、ベビマクラブ、マタニティクラブ等)	健康福祉部保険課、教育部子育て支援課	決算額	8,818,000円			
学校教育に関する相談	教育部学校教育課	決算額	0円			

事業目標・概要 【PLAN】	出産・子育ての不安や悩みを抱えたまま地域で孤立することのないように、身近な相談から専門的な相談、各種教室の開催など、関係機関や地域団体等の連携を強化し、妊娠・出産・子育て関連の情報提供・相談体制を充実します。
実績 【DO】	【保険課】 子育て教室(子どもの遊び場・ママの遊び場・学びの場)延べ398人・ベビマクラブ年11コース(2回1コース)延べ244人・マタニティクラブ年3コース(4回1コース)延べ54人・体重測定日11回314人 【子育て支援課】 チューリップ保育園において、町の委託事業として子育て支援センターを設置しており、その中でオープンスペース、各種講座等を年間103回実施しており、保護者、子どもの延べ参加人数が1,874人であった。 【学校教育課】 総合相談事業を通しての奨学金等の相談や、学校生活にかかる相談を、随時、年間を通じて実施した。2学期初旬の土曜日には、奨学金等の説明会及び相談会を実施した。
	【保険課】 安心・安全なお産のために妊婦とその家庭を対象としてマタニティクラブを開催し、ベビマクラブ、子育て教室や体重測定日を設定することにより、生後早期からの母と子

効果検証会議による評価	
意見	

事業内容評価・分析 【CHECK】	の愛着形成、育児不安を軽減し、子どもの健全な発育発達、保護者の不安軽減に繋がった。 【子育て支援課】 今年度については、KPIの目標値を上回ることができたが、年度により参加者数の増減があることから、年度末に子育て支援センターと町事務局において年間実績を基に会議を開催しており、翌年度に向けた予定などを協議している。 【学校教育課】 年間を通じて、随時、相談体制を整えており、窓口や電話等での相談に対応できている。また、広報ただおか等を通じて、定期的に情報提供ができている。
今後の方向性 【ACTION】	【保険課】 今後も引き続き各教室を開催し、利用促進を行い、安心・安全な出産や子育ての不安や悩みを軽減できるよう、身近な相談から専門的な相談など関係機関と連携し、情報提供や相談体制の充実に取り組む。 【子育て支援課】 チューリップ保育園における子育て支援センターについては、引き続き委託事業として継続をしていく。 【学校教育課】 引き続き具体的な情報提供を行い、相談できる場を周知する。また、相談内容によっては、随時、関係機関との連携を行い、丁寧なサービスを実施していく。

総合評価	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	①-3			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)			
具体的施策	1-①-3 妊娠・出産・子育てに対する支援			
決算額	53,267,910円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
不妊治療費助成件数:10件／年		40.0%	×	目標値 実績値
(子育て環境、支援の満足度)就学前保護者:20%		—	—	目標値 実績値
(子育て環境、支援の満足度)小学生保護者:13%		—	—	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
特定不妊治療費の助成	健康福祉部保険課	決算額	186,700円	196,600円		
子ども医療費の助成	教育部子育て支援課	決算額	5,718,822円	39,892,743円		
忠岡あすなろ塾事業	教育部学校教育課	決算額		2,220,000円		
ひとり親家庭に対する助成	教育部子育て支援課	決算額		10,958,567円		

事業目標・概要 【PLAN】	国の施策や動向と連携しながら、妊娠・出産・子育てに対する助成など各種支援を行います。
実績	【保険課】 0歳児の数は年々減少している。町独自の不妊治療費助成件数は、平成25年度は12件(妊娠数5件)、平成26年度は7件(妊娠数1件)、平成27年度は17件(妊娠数7件)、平成28年度は15件(妊娠数7件)また、地方創生分(2回目以降の申請分)平成27年度は5件(妊娠数1件)、平成28年度は4件(妊娠数0件)となった。 【子育て支援課】 子ども医療費の助成については、平成25年4月から入院に係る対象年齢を中学校卒

効果検証会議による評価	
	・引き続き2回目以降の不妊治療費助成についての周知に努めてもらいたい。 ・財政の関係もあると思うが通院についても中学校卒業年度末までの拡充に取り組んでももらいたい。 ・「今年度は、女性のみではなく男性の不妊治療も対象とする」とあるが、町民への周知はどのよ

【DO】	業年度末までに拡充した。通院については、平成26年10月より小学校3年生までに拡充し、さらに平成27年4月より小学校卒業年度末まで拡充を行っている。 【学校教育課】 町立小学校の4年生～6年生児童の希望者を対象に、算数の基礎・基本を学べる場を提供し、学習機会の拡充を図った。132名の児童が土曜日に年40回参加した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【保険課】 今年度は、女性のみではなく男性の不妊治療も対象とする制度の拡充を行った。対象者1人に3回申請されている方もいることから高額な費用がかかる不妊治療において妊娠を希望する方の経済的負担軽減を図ることの一助となったと考えられる。 【子育て支援課】 府内市町村の状況を見てみると、平成29年4月現在で43市町村中、35市町村(81%)で通院についても中学校卒業年度末以上となっていることから、早急な対応が求められているものと考えられる。 【学校教育課】 年度末に実施した参加児童及び保護者対象のアンケートでは、「この塾に通うようになって、学校の勉強がよくわかるようになった」という項目に対して、児童・保護者とも肯定的な回答が得られた。児童(88.1%)、保護者(78.7%)
今後の方向性 【ACTION】	【保険課】 晩婚化が進む中で、不妊治療での妊娠を希望する方も多く、今後も制度の拡充を図りながら、事業を続ける必要があると思われる。 【子育て支援課】 出来るだけ早期に、通院についても中学校卒業年度末以上の拡充について検討する。 【学校教育課】 対象を町立小学校児童4年生～6年生を、町立中学校生徒1年生～3年生までに拡充し、小学生には算数、中学生には数学・英語を学べる場を提供する。

意見	うに行われるのですか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	①-4			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1-①-4 子ども預かり制度の拡充			
決算額	48,471,239円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
待機児童：0人継続		100.0%	◎	目標値 実績値
(子育て環境、支援の満足度)就学前保護者：20%		—	—	目標値 実績値
(子育て環境、支援の満足度)小学生保護者：13%		—	—	目標値 実績値
放課後子ども教室等利用児童数：年7,000人		115.5%	◎	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
延長保育の実施	教育部子育て支援課	決算額	31,599,008円			
待機児童の解消	教育部子育て支援課	決算額	—			
放課後子ども教室(キッズクラブ)、児童教室、留守家庭学級の運営	教育部生涯学習課	決算額	16,834,431円			
放課後子ども教室(キッズクラブ)や児童教室における活動発表の場となるイベントの開催	教育部生涯学習課	決算額	37,800円			

事業目標・概要 【PLAN】	子育て世代の女性の働く機会を拡大するために、放課後児童クラブ(キッズクラブ)や児童館の充実など、子ども預かり制度を拡充します。
	【子育て支援課】 年度当初については、待機児童0人であったが、保育士不足の影響により年度途中では待機児童が4名発生した。

効果検証会議による評価	
	・達成率100%とはいえ、年度途中で4人の待機児童が発生している。本当に100%と言えるのですか。

実績 【DO】	【生涯学習課】 放課後子ども教室は、毎週木・金曜日と第3土曜日に開催し、食育や防犯教室、東京海上日動火災による自転車安全授業など様々なプログラムを実施することで子どもの情操教育を行った。 また、豊かな人間性を育むために書き方習字、ピアノ、絵画、合唱、パソコン教室など8種類の児童教室を開催するとともにピアノ発表会、児童館フェスティバルを実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【子育て支援課】 29年度以降も保育士不足により待機児童発生の恐れがあるため、早急に幼保一体化を進めて行く必要がある。 【生涯学習課】 待機児童のいない留守家庭児童学級の運営や放課後子ども教室、児童教室を開催することで放課後の子ども達の居場所を確保し安心して子育てできる環境づくりに寄与することができた。
今後の方向性 【ACTION】	【子育て支援課】 平成31年4月開園を目指し、現在幼保一体化を進めている。 【生涯学習課】 引き続き放課後の子ども達の居場所を確保するとともに、キッズクラブや児童教室において多彩なカリキュラムを開催し、豊かな人間性を育むための情操教育を実施する。

意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	①-5
-----	-----

基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1－②－1 学校における多様な人材の活用			
決算額	8,659,580円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
サポーター等：年間20人		85.0%	○	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
学力向上や生徒指導のためのサポーター、非常勤講師、社会人等指導者、スクールカウンセラーの配置	教育部学校教育課	決算額	7,308,220円			
小学校への司書の配置	教育部学校教育課	決算額	1,351,360円			

事業目標・概要 【PLAN】	児童・生徒の実態や指導のそれぞれの場面に応じて、個に応じた選択学習、個別指導やグループ別指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、繰り返し指導、また、非常勤講師や社会人指導者などの活用も含めた学校教育の充実を図ります。
実績 【DO】	学習面への支援として、小学校1年生・2年生に非常勤講師2人、小学校3年生・4年生に学力向上サポーター2人を各小学校へ派遣した。中学校へは、生徒指導面への支援として、生徒指導サポーター2人を派遣した。また、水泳や書写などの専門的な分野での社会人等指導者5人を活用した。 児童・保護者・教員からの相談業務及び専門的な見地からの支援として、スクールカウンセラーを2人配置した。 小学校の読書活動をより推進するために学校司書2人を配置し、児童の読書への興味・関心を高めた。
事業内容評価・分析 【CHECK】	学校の教職員をサポートすることにより決め細やかな、個々に応じた指導・支援ができた。学校司書の配置により、本の貸し出し冊数は安定的に推移している。
今後の方向性 【ACTION】	さまざまな分野でのサポーターを学校現場に活用していくために、幅広く、サポーターを募集していく。

効果検証会議による評価	
意見	・学力向上・生徒指導サポーターとは、どのような人材なのですか。 ・小学生5・6年生を対象としていないのはなぜですか。 ・具体的な本の貸し出し冊数の推移については、どの様になっているのですか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	①-6			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)			
具体的施策	1-②-2 英語教育の充実			
決算額	11,208,464円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
英検受験者数:500人(年間100人×5年)		142.0%	◎	目標値 実績値
英検合格者数:350人(年間70人×5年)		91.4%	○	目標値 実績値
英語体験セミナー参加者:750人(年間150人×5年)		142.7%	◎	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
忠岡町独自の英語教育方法(忠岡メソッド)の確立	教育部学校教育課	決算額	1,488,672円			
町全体で英語にふれあえる機会の提供(英語体験セミナーの開催、英語検定受験料の補助等)	教育部学校教育課	決算額	7,519,417円	5,899,792円		
外国青年語学指導員の配置	教育部学校教育課	決算額	3,820,000円			

事業目標・概要 【PLAN】	忠岡町全体の取り組みとして英語教育を位置付けて、本町独自の英語教育の普及と発展を推進します。
実績 【DO】	小学校教員・中学校英語科教員を対象に英語指導法セミナーを年間延べ9回実施した。また、中学生対象に英語能力判定テストを実施し、効果検証を実施している。英語検定受験料補助を、町立中学校生徒113人、町在住高校生・大学生29人に行った。 町立幼稚園・保育所の5歳児約100人を対象に、英語体験セミナーを年間各園所で4回実施した。 町立小学校1年生～4年生児童の希望者80人を対象に、12月～3月にかけて15回の英語レッスンを実施した。 忠岡町PR動画に町立小学生から中学生までの希望者24人が参加し、世界に向けて忠岡町を英語でPRした。

効果検証会議による評価	
意見	

	外国青年語学指導員を小・中学校に派遣し、小・中学校の英語教育推進に寄与した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	忠岡町全体として、さまざまな学年に対して、英語に触れる場を提供できた。また、保護者の英語に対する意識も肯定的であった。 英語レッスンに参加した児童の保護者対象のアンケートでは、「英語に興味を持つようになった」という項目に対して、肯定的な回答が得られた。(89.1%)
今後の方向性 【ACTION】	引き続き、英語を体験できる場・英語に興味関心を持てる場を提供していく。

総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	①-7
-----	-----

基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1－②－3 キャリア教育の推進			
決算額	0円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
職場体験学習等回数：年間3回		100.0%	◎	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
公共施設等の見学の実施	教育部学校教育課	決算額	0円			
職場体験学習の実施	教育部学校教育課	決算額	0円			

事業目標・概要 【PLAN】	体験型教育を通じて望ましい勤労観・職業観を育てるため、地域の仕事に学ぶ「体験活動」を実施するなど、キャリア教育の視点での学校教育活動を充実し、人間としてのあり方、生き方につながる指導を行います。
実績 【DO】	小学校3年生は、毎年、まち探検として町内の公共施設を見学している。 小学校4年生は、消防署・警察署を見学している。 中学校2年生は、職場体験学習として11月に実施している。
事業内容評価・分析 【CHECK】	児童・生徒の勤労観・職業観を育てるために、必要な情報を提供したり、関係諸機関・庁内関係課とも連携して、体験型教育の充実を図っている。
今後の方向性 【ACTION】	小・中学校9年間の系統立てた指導シラバスを充実するために、研修会等の支援を行い、指導・助言を行う。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	①-8			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)			
具体的施策	1-③-1 子育て関連施設の充実			
決算額	306,827円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
保育所園庭開放実施:2箇所／年		100.0%	◎	目標値 実績値
保育所園庭開放実施回数:20回／年		50.0%	×	目標値 実績値
保育所園庭開放参加者数:45組・100人／年		68.9%	△	目標値 実績値
		67.0%	△	目標値 実績値
公園遊具等整備保全:22箇所		100.0%	◎	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
保育所(園)・幼稚園の開放・連携・整備	教育部子育て支援課	決算額	0円			
遊び場所・集いの場の整備	教育部生涯学習課、子育て支援課、産業まちづくり部建設課	決算額	306,827円			

事業目標・概要 【PLAN】	地域の実情や保護者のニーズを踏まえて、公園の遊具整備や保育所の地域開放など、地域に開かれた子育て支援の場を充実します。
-------------------	---

効果検証会議による評価	
	・子ども園へ移行する方針を打ち出され、かつ、民営化を導入されると聞いており、公と民の良いところが強調されるように進めて頂きたいと思い

実績 【DO】	実績としては、回数、参加者とも大幅に下回っている。この要因としては公立保育所における保育士不足によるところが、大きいと考えられる。
事業内容評価・分析 【CHECK】	開催回数の増については、現状の職員体制では非常に難しいことからKPIの達成については困難であるとする。
今後の方向性 【ACTION】	現在、幼保一体化を進めており、こども園化を図っていくことにより、今まで以上の子育て支援の場の充実を目指していく。

意見	ますが、具体的に「今まで以上の子育て支援の場の充実を目指していく」施策は、どう考えておられますか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	①-9			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1-③-2 子どもの安全・安心の確保			
決算額	225,000円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
見守り隊等参加者数：年間2,300人		62.5%	△	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
子どもの安全見守り隊等の設置・運営、ボランティアへの支援	教育部生涯学習課	決算額	0円			
青少年健全育成のための指導員の委嘱や活動団体への助成	教育部生涯学習課	決算額	225,000円			

事業目標・概要 【PLAN】	子どもの安全・安心を確保するために、「子ども支援ネットワーク会議」を中心に、地域住民や地域団体、関係機関等との連携を強化し、子育て家庭に対する見守りや相談等の支援を充実します。
実績 【DO】	毎週、火曜日・金曜日の下校時に見守り隊によるパトロールを実施するとともに、忠岡留守家庭児童学級の忠岡町役場までの避難訓練時に、子どもの安全を確保するため随行を行った。 非行防止強調月間に合わせて、青少年指導員が駅前において街頭啓発を実施するとともに、毎月定例会終了後に中学校周辺の夜間パトロールや盆踊り大会、祭礼時に町内パトロールを実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	下校時の見守りやイベント時に青少年指導員が夜間パトロールを実施したことで、一定の犯罪の抑止効果があった。 高齢化を理由に見守り隊の人数が減少しており、隊員の確保が必要である。
今後の方向性 【ACTION】	子どもの安全確保のため引き続き関係諸団体との連携を図るとともに、地域が子育てに関心を持ち、子どもを見守っていくという意識づけを住民に行い、気軽に活動に参加できるように啓発を行っていく。

効果検証会議による評価	
意見	・目標値を達成できるように更なる啓発に努めるとともに、防犯委員以外の犬の散歩や、ジョギングをしている方に、子どもたちの登下校の時間に合わせてパトロールをしてもらうなどといったことを考えてはどうか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	②-1
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～
具体的施策	2-①-1 健康づくりの推進
決算額	77,973,864円

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

KPI		H28年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
各種がん検診受診率:30%				目標値					30%
	(胃がん)	26.7%	×	実績値		8%			
	(肺がん)	23.3%	×	実績値		7%			
	(大腸がん)	16.7%	×	実績値		5%			
	(子宮がん)	66.7%	△	実績値		20%			
	(乳がん)	76.7%	△	実績値		23%			
特定健診受率:50%		58.2%	×	目標値					50%
				実績値		29%			
健康教室等参加人数:1,000人／年		68.9%	△	目標値		1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
				実績値		689人			

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
各種健康診断の実施と受診状況の把握	健康福祉部保険課	決算額		32,587,497円			
感染症予防接種の実施と接種状況の把握	健康福祉部保険課	決算額		42,729,116円			
健康教室やイベントの開催	健康福祉部保険課	決算額		20,000円			
健康相談の実施	健康福祉部保険課	決算額		1,974,500円			
救急医療機関への助成	健康福祉部保険課	決算額		662,751円			

事業目標・概要 【PLAN】	特定健診・特定保健指導の推進や健康、医療に対する意識の高揚などにより、国民健康保険制度の適正な運営と維持を図ります。
実績 【DO】	各種がん検診・特定健診等を5月～3月末の期間で、保健センター及び医療機関にて実施。がん検診の推奨年齢の人を対象に無料検診ハガキを送付し、がん検診受診率向上を図った。特定健診受診率 平成27年度 32.6% 平成28年度の実績値は10月頃でないと確定できないので4月末時点の実績値で評価を行った。前年度同月比で1%減の実績となっている。日曜健診を昨年度からさらに1日増やし受診機会の拡充を図り、未受診者個別勧奨も引き続き行った。
事業内容評価・分析 【CHECK】	がん検診については、受診率は低く、大阪府全体でも低い状況にある。本町は胃がん・乳がん・子宮がんについては、府内平均以上の受診率ではある。受診機会の拡大を図っており少しずつ増加はしているが、低い状況である。特定健診についても、無料化を図り、受診機会の拡大を図っているため、毎年少しずつ受診率は向上している。
今後の方向性 【ACTION】	がん検診や特定健診については、引き続き、受診日や医療機関の拡大を図りつつ、無料化や未受診者勧奨を行いながら住民一人ひとりの健康意識を高める啓発活動にも努力し、保健事業への積極的参加を促進するよう努める。

効果検証会議による評価	
意見	・今年度から、健幸マイレージ事業をスタートしておられますが、その実施の際にも、特定健診のPRを含めて行えば、効果があがるのでは。 ・各種がん検診の受診率が低くでています。町民への周知、啓発活動は具体的にはどのようにして行くのですか。 ・がん検診・特定健診それぞれの対象者については、どの様になっているのですか。 ・主な施策の上段2項目について、それぞれの決算額の内訳概要はどの様になっているのですか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	②-2								
基本目標	2	住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～							
具体的施策	2-①-2	高齢者・障がい者(児)等福祉の充実							
決算額	66,541,788円								
KPI		H28年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
介護予防のため教室利用者数:年間200人		198.0%	◎	目標値		200人	200人	200人	200人
				実績値		396人			

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
関連活動団体への支援	健康福祉部いきがい支援課	決算額		31,190,117円			
高齢者ケアマネジメントの実施	健康福祉部いきがい支援課	決算額		28,531,427円			
障がい者支援のための相談	健康福祉部いきがい支援課	決算額		1,437,500円			
障がい者就労のための支援	健康福祉部いきがい支援課、産業まちづくり部産業振興課	決算額		204,000円			
福祉バスの運行	健康福祉部いきがい支援課	決算額		3,061,944円			
建築物のバリアフリー化	健康福祉部いきがい支援課、教育部生涯学習課、町長公室自治政策課、	決算額		2,116,800円			

事業目標・概要【PLAN】	効果検証会議による評価
高齢者や障がい者、障がい者(児)の保護者、介護者等からの相談に応じる総合的な相談支援事業の充実を図るとともに、地域の中で自立した生活を営むために必要な情報の提供や施設の整備を推進します。	
【いきがい支援課】 要支援・要介護の状態となる恐れのある高齢者を把握し、お元気いきいき教室(介護予防教室)を開催し、運動や栄養改善等のプログラムの実践等を通じて、要介護状態になることを予防するための介護予防事業を実施した。	

	【産業振興課】 本町所在の障がい者施設の入所者(約13人)が、当該施設内で完了できる簡易な作業を年間委託して工賃を支払う「忠岡町障がい者就労支援事業」を実施した(H25～継続実施)。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【いきがい支援課】 介護予防教室の開始時と終了時に、参加者の運動能力を測定し、教室の参加によって、どのくらい体力等が改善・向上されたかを参加者に示している。 参加者からは、毎年このような教室を開催してほしいと要望がある。 【産業振興課】 町PRグッズの一部作成や販売用グッズの包装等を主業務とし、業務に関っていることを貼付シールで標記、障がい者の活動が社会資源になることを広くPRしている。作業可能な入所者は社会貢献を認識して工賃を得ることができ、自立心向上に繋がっていることから施設職員・保護者等から継続要望が届いている。また、本事業は、大阪府総合相談事業交付金算定の際、創意工夫の事例として加算対象となった。
今後の方向性 【ACTION】	【いきがい支援課】 広く住民の健康や運動意識の向上を図るため、教室の開催頻度を増やすことや講演会の開催を検討する。 また、目標値の引き上げについて検討する。 【産業振興課】 委託する作業メニューの単一化を防ぐため、町PRグッズ以外にも各種啓発物品や学校配布用品等購入の際、完全外注を即決せずに障がい者の作業が入り込める余地を熟考していく。また、他の障がい者関連施設においても就労希望を確認し、社会貢献の認識と工賃獲得が実現するよう支援していく。

意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	②-3			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-②-1 防災対策の充実			
決算額	3,838,865円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
防災訓練等参加者数:年間400人		55.0%	×	目標値 実績値
備蓄食料:18,500食		46.6%	×	目標値 実績値
要支援者のマッチング率:70%		47.4%	×	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
防災・避難訓練等の実施	町長公室自治政策課	決算額	134,268円			
自主防災組織への支援	町長公室自治政策課	決算額	0円			
災害備蓄品の充実	町長公室自治政策課	決算額	1,483,660円			
災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定	町長公室自治政策課	決算額	85,937円			
耐震化のための助成	産業まちづくり部建設課	決算額	2,135,000円			

事業目標・概要 【PLAN】	地域における自主的な「共助」による防災活動を推進するために、自主防災組織への支援に努め、それに必要な情報周知、設備支援や建物の耐震化の助成などを推進します。
実績 【DO】	平成28年度の防災訓練は雨天のため中止となったが、5月にHUG訓練(30名参加)、7月に避難所運営訓練(60名参加)、翌2月に防災講演会(130名参加)を実施した。備蓄食料については、平成32年度に必要備蓄数を達成できるよう、計画に基づき4,500食分を購入した。

効果検証会議による評価	
	・防災訓練の参加者が少ないのは何故か。また、いつ起こるかわからない災害への危機感を醸成するために、他の自治体の取り組みを参考にされてはいかがでしょうか。

	災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定につき、275名からの新規申請を受け付け、マッチング数を6件増加させた。
事業内容評価・分析 【CHECK】	備蓄食料は、計画通り増加している。 災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定については、現時点でのマッチング率は目標値の半分以下であり、平成32年度での目標達成のためにはより一層の取り組みが必要である。
今後の方向性 【ACTION】	防災訓練等については、町民の参加を広く呼びかけた上で実施する。 備蓄食料については、計画に基づいて整備を進めていく。 災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定については、今年度も各地区自治振興協議会にマッチングを依頼し、新たな個別計画の策定を図る。

意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	②-4			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-②-2 防犯対策の充実			
決算額	1,375,000円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
防犯カメラ設置箇所数: 50箇所		84.0%	○	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
防犯カメラの整備	町長公室自治政策課 決算額		825,000円			
防犯パトロールの強化	町長公室自治政策課 決算額		0円			
防犯に関する啓発	町長公室自治政策課 決算額		550,000円			

事業目標・概要 【PLAN】	安全で安心な地域社会を実現するため、防犯委員会、警察、関係団体と連携しながら街頭啓発を行うなど、防犯体制の強化に努めます。
実績 【DO】	各地区自治振興協議会において5台の防犯カメラが設置され、補助金を交付した。墓店に合わせ、防犯パトロールを行い、また、広報車での青色防犯パトロールも随時実施した。 春・秋の地域安全運動に合わせ、駅前での街頭啓発、スーパー前でのひたくり防止カバーの取付けを実施した。また、2月～3月に特殊詐欺が増加した際には、防災行政無線により特殊詐欺に対する注意喚起を1日に2回ずつ実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	防犯カメラの設置については、目標値を達成できるペースで台数が増加している。青色防犯パトロールを実施したことにより、通学時の安全を図ることができた。また、ひたくり防止カバーの普及により、街頭犯罪に対する抑止効果を図ることができた。
今後の方向性 【ACTION】	防犯カメラの設置については、今後も自治振興協議会に対する補助金の交付を行い、台数の増加を図る。また、設置の必要性があると思われる箇所については、自治振興協議会に対して積極的な情報提供を行う。 防犯パトロール及び防犯啓発は効果が見えにくい事業であるが、関係団体との連携を強化すること、及び町民の防犯意識を高めることに主眼を置き、取組みを実施していく。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	②-5			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-②-3 交通安全対策の充実			
決算額	3,215,160円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
交通安全教室への参加者数（学校・幼稚園保育所での開催を除く）:120人／年		101.7%	◎	目標値
				実績値
交通死亡事故件数:0件維持		0.0%	×	目標値
				実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
交通安全施設の整備	産業まちづくり部建設課 決算額		3,215,160円			
交通安全教室の開催	産業まちづくり部建設課 決算額		0円			
迷惑駐輪・駐車に対する指導・啓発、放置自転車の撤去	産業まちづくり部建設課 決算額		0円			

事業目標・概要 【PLAN】	交通安全意識と交通マナーの向上を図るため、家庭・学校・地域・職場などと連携・協力し、各年齢層に応じた交通安全教育の充実に努めます。また、交通安全の推進に関連する各種施策を実施します。
実績 【DO】	春と秋の交通安全運動期間中に、安全運転者講習会、高齢者体験・実践型交通安全教室、高齢者対象の交通安全教室、忠岡幼稚園・東忠岡幼稚園・チューリップ保育園・忠岡保育所・東忠岡保育所・忠岡小学校・東忠岡小学校・忠岡中学校において、交通安全教室をそれぞれ実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	春と秋の交通安全運動期間中に実施した交通安全教室への参加者は、目標値を超えた。
今後の方向性 【ACTION】	今後も広く住民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故の防止の徹底を図る。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	②-6			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-②-4 消防・救急救命体制の充実			
決算額	1,780,531円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
年齢構成割合(40歳以下の団員):60%		73.3%	△	目標値
				実績値
消防団の装備の基準整備率:100%		90.0%	○	目標値
				実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
地域の担い手となる若手消防団員の確保	消防本部消防総務課 決算額		0円			
消防資機材等の整備	消防本部消防総務課 決算額		1,780,531円			

事業目標・概要 【PLAN】	消防車両及び各種資機材を年次的に整備するなど消防力の強化を図るとともに、将来に向けての体制の維持・強化を図るため、若手消防団員の確保に努めます。また、救急需要の増加に伴い、救急救命士の養成と救急隊員の育成強化により、救命率の向上を図ります。
実績 【DO】	消防用資機材(油圧切断機、消防用ホース、空気ボンベ等)を整備した。若手消防団員を確保するために広報紙による入団促進及び公開訓練を実施した。救急救命士の資格を取得し、1名増の9名体制で救急事案に対応した。また、救急医療週間に合わせ、スーパー前で救命講習会を実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	消防用資機材等については、計画に基づいて整備が図られた。若手消防団員の確保については、広報誌による入団促進及び公開訓練を実施したが、入団まで至らなかった。救急救命士養成計画に基づいて派遣し、資格取得者が増加した。
今後の方向性	消防車両及び各種資機材を整備し、消防力の強化を図る。各種行事等で、消防団員の入団促進を積極的に実施する。指導救命士の資格を取得し、医師と連携して救急業務に携わる救急救命士、救急隊員、通信指令員等への救急全般の教育、指導及

効果検証会議による評価	
意見	・これまでの消防団の年令構成はどうなっていますか。 ・少しずつ年令が下がっていると思われますので、これからも各種イベントで募集されてはいいかがか。

【ACTION】	び医療機関との調整等の役割を果たすための知識、技術を修得し、救急体制の充実を図る。	総合評価 ※2	
----------	---	------------	--

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	②-7			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-③-1 生涯学習・生涯スポーツの推進			
決算額	3,632,280円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
生涯学習プログラムの参加者数:年間1,200人		75.8%	△	目標値
				実績値
スポーツイベント参加者数:年間3,000人		97.0%	○	目標値
				実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
生涯学習プログラムの実施	教育部生涯学習課	決算額	861,700円			
生涯学習関連活動団体への支援	教育部生涯学習課	決算額	877,000円			
活動団体の発表と交流のためのイベントの実施支援	教育部生涯学習課	決算額	0円			
生涯スポーツ関連活動団体への助成	教育部生涯学習課	決算額	1,263,000円			
スポーツイベントの開催	教育部生涯学習課	決算額	630,580円			

事業目標・概要 【PLAN】	ライフステージに応じた学習機会の創出や、多様化する住民ニーズに応える生涯学習や生涯スポーツ推進のための体制づくりを計画的に進めるとともに、生涯学習関連活動団体等の支援・育成を進め、住民と役場の協働による生涯学習推進体制を整備します。
実績 【DO】	文化会館において連続講座延べ23回、単発講座52回の学習プログラムを開催した。また、町主催によるただおかウォーク、ゲートボール大会、町民体育大会、ただおかマラソンを開催するとともに、スポーツ推進委員協議会と連携を図りチャレンジザウォークやチャレンジザスポーツを開催することで住民の健康促進を図った。
事業内容評価・分析 【CHECK】	文化会館において開催している講座の参加者は高齢者が多く、若年層の参加者が少ない傾向であった。ウォーキングイベントで初めてウォーキングされた方のほとんどが、今後ウォーキン

効果検証会議による評価	
意見	・定期的に、住民の方にどのような生涯学習プログラムであれば参加したいのかアンケートを取ってはどうか。 ・文化会館では、様々な講座が開催されているようですが、参加者の年齢構成の推移はどうなっていますか。 ・毎年、新たな参加者が増えていると思いますが、その方の割合はどうなっていますか。

	グを始めたいとのアンケート結果となり住民の健康意識を高めることができた。
今後の方向性 【ACTION】	住民ニーズに応じた多種多様な講座やスポーツ・レクリエーションを実施していく。 また、若年層の方が講座に参加しやすいよう土・日曜日の開催や子どもの預かり保育を行うなど工夫し、参加しやすい環境の整備を図る。

総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	②-8			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-③-2 自治会活動の活性化			
決算額	485,000円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
自治会加入率:80%		91.4%	○	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
自治会活動への助成	町長公室自治政策課 決算額		485,000円			

事業目標・概要 【PLAN】	地域におけるふれあいや連帯感を高め、日常やいざという時に助け合うことができるコミュニティが形成されるよう、様々な機会を通じてコミュニティ意識の醸成に努めるため自治会活動への支援を図ります。
実績 【DO】	10地区の自治振興協議会において、自治会への加入を促進する事業として地域の人々が交流できるイベントが開催され、地域住民の触れ合いにより、各地区自治会加入率の向上を目指した。 自治会で把握している各地区の世帯数をベースに算定した平成28年度の自治会加入率は73.10%(平成27年度は74.32%)となった。なお、加入世帯数は5,078世帯(平成27年度は5,163世帯)であり、85世帯の減となっている。
事業内容評価・分析 【CHECK】	自治会加入率は減少傾向にあり、平成32年度に目標値を達成するには、より一層の取組みが必要である。 もっとも、加入世帯数自体は85世帯の減であるが、平成26年度と平成27年度との比較においては155世帯の減があったことに鑑みれば、加入世帯数の減少は緩やかになっており、本事業は自治会離れに一定の歯止めをかける効果はあったものと評価できる。
今後の方向性 【ACTION】	各地区自治振興協議会においてどういった事業が自治会への加入に結びつくかを検討されているが、次年度は今年度と異なる新たな事業に取り組まれるよう依頼し、自治会への加入を促進する有効な取り組みを模索する。有効と思われる取り組みがあれば、翌年度以降の事業に活かせるよう、各自治振興協議会に情報提供を行う。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	②-9			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-③-3 地域文化・芸術活動の推進			
決算額	0円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
町民文化祭の来場者数:年間 1,400人		95.1%	○	目標値 実績値
町民音楽祭の来場者数:年間180人		107.2%	◎	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町民文化祭の開催支援	教育部生涯学習課	決算額	0円			
町民音楽祭の開催支援	教育部生涯学習課	決算額	0円			

事業目標・概要 【PLAN】	地域における文化創造の担い手である住民の自主的で多様な活動を振興するため、住民が日常生活の中で文化活動に取り組める機会や場の充実に努めるとともに、住民が多種多様な文化・芸術を楽しめる機会を拡充します。
実績 【DO】	10月中旬～11月上旬まで文化会館において、忠岡町文化協会主催による子ども作品展、一般作品展など文化祭を開催し、10月30日に各クラブの発表会としてふれあいフェスティバル、また11月20日に町内で活動する音楽関係団体の出演と木管五重奏の奏者をゲストに迎え町民音楽祭を開催した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	文化協会の活動を支援することにより文化・芸術にふれあう機会を創出し、住民の交流の場を提供することができた。
今後の方向性 【ACTION】	忠岡町文化協会が自主的な活動ができるよう、引き続き支援を行う。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	②-10								
基本目標	2	住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～							
具体的施策	2-④-1	居住環境の向上							
決算額	332,000円								
KPI		H28年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
個人清掃ボランティア新規登録数:10人(年間2人×5年)		100.0%	◎	目標値		2人	2人	2人	2人
				実績値		2人			

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
河川環境保全の推進、美化活動団体への支援	住民部生活環境課	決算額		258,000円			
みどりのカーテン事業等の緑化事業	住民部生活環境課	決算額		74,000円			
道路や公園等の屋外広告物の撤去及び美化運動	住民部生活環境課	決算額		0円			

事業目標・概要 【PLAN】	みどり豊かなまちづくりを進めていくため、道路や河川などの緑化を図るとともに、身近な緑化運動などを通じた意識の高揚や公共空間での美化活動を推進します。
実績 【DO】	河川生物調査等でのデータ収集、河川パトロールの実施、生活排水対策や河川美化の啓発活動等を行った。 児童館、北出浄水場においてゴーヤ45ポットの植栽を行い、日陰により室内温度の上昇を抑える緑化事業を実施した。 自治振興連絡協議会の協力のもと、町全域において年2回(6月、11月)清掃活動を実施(収集ごみ量約6.5トン)し、違法屋外広告物の撤去(13枚)を行った。 清掃ボランティアによる道路、公園等の清掃(ごみ袋3,270枚配布)に対し支援するとともに、清掃ボランティアとして2団体の新規登録があった。
事業内容評価・分析	環境保全の推進、河川の監視事業、啓発事業を始め、身近な河川の環境保全、環境維持に努めることにより、河川水質が改善している。 地球温暖化防止活動の一環として壁面等につる性植物などを植栽する環境にやさし

効果検証会議による評価	
意見	

【CHECK】	い身近な取り組みの普及促進が図られた。 地域における美化活動の推進により、環境美化に対する意識、マナーの向上が図られた。
今後の方向性 【ACTION】	河川環境保全については、今後も大津川水域水質保全対策協議会に参画し、環境保全の推進、河川の監視事業、啓発事業を始め、身近な河川の環境保全、環境維持に努める。 緑のカーテン事業については、実施場所の拡充を図る。 今後も道路、公園の公共施設等における、個人、地域、ボランティア団体等の自主的な美化清掃活動を支援し、環境美化に対する意識、マナー向上のための啓発活動の充実に努める。

総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	②-11
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～
具体的施策	2-④-2 生活・都市基盤の整備
決算額	160,999,369円

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

KPI	H28年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
公共施設等長寿命化計画の策定	100.0%	◎	目標値 実績値					
水道管の更新箇所:3路線、総延長1,060m	—	◎	目標値					3路線
			実績値		H29年3月策定	—	—	—
	—	◎	目標値					1,060m
			実績値		0路線			
下水道人口普及率:97%	100.0%	◎	目標値					97%
			実績値		124m			
水洗化率:90%	97.2%	○	目標値					90%
			実績値		87.5%			

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
公園等の適切な維持管理、道路等の緑化	産業まちづくり部建設課	決算額		18,231,518円			
道路等の公共施設の適切な維持管理	産業まちづくり部建設課	決算額		17,619,181円			
上下水道施設の老朽化対策	産業まちづくり部水道課、下水道課	決算額		79,267,680円			
下水道の普及促進	産業まちづくり部下水道課	決算額		45,880,990円			

事業目標・概要 【PLAN】	都市基盤整備の促進、調和のとれた住宅開発などが行われるよう、都市計画法、国土利用計画法、都市公園法などの法制度を適切に運用し、道路や下水道、公園・緑地などの計画的な整備を進め、生活環境の向上を図ります。
-------------------	---

効果検証会議による評価	

実績 【DO】	【水道課】 中央線水道管更新第2期工事(第1工区)を実施し、基幹管路(忠岡東1丁目地内)の更新及び耐震化が図られた。 【下水道課】 下水道人口普及率については、97%まで達成。汚水整備延長工事(55.80m)を行った。水洗化率向上については、下水道整備区域の世帯について、戸別訪問を行い、水洗化についての状況調査を実施。町広報に随時掲載し、啓発を行った。水洗化に対する改造助成金(14件、290千円)を交付した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【水道課】 目標どおりの事業を実施できた。 【下水道課】 下水道人口普及率は、実績値97%、水洗化率は、実績値87.5%で順調に推移している。
今後の方向性 【ACTION】	【水道課】 基幹管路の更新及び耐震化を計画どおり進める。 【下水道課】 国の補助金等を効率的に活用し、更なる下水道整備を進める。

意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	③-1			
基本目標	3 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめとして、個人の目標に 応じてレベルアップができるまち～			
具体的施策	3-①-1 企業への支援			
決算額	1,786,373円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
補助事業利用件数:70件		120.0%	◎	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
中小企業振興資金利子の補給	産業まちづくり部産業振興課 決算額		1,321,905円			
企業HP作成のための助成	産業まちづくり部産業振興課 決算額		100,000円			
小売業振興のための助成	産業まちづくり部産業振興課 決算額		300,000円			
忠岡町特産品の展示	産業まちづくり部産業振興課 決算額		64,468円			

事業目標・概要 【PLAN】	商工会と連携を図り、企業の経営改善や体質の強化などに向けた相談支援・指導体制を充実します。また、地域産業の育成を図るため、地場産品や新商品の販路拡大に向けた支援を行います。
実績 【DO】	中小企業振興資金利子の補給申請(34事業者)、企業HP新規作成の補助申請(2事業者)、30万円助成する小売商連合会加盟数(36事業者)、庁舎内・駅構内での特産品展示コーナー利用(12事業者)、計84事業者であった。また、年度当初に企画担当及び商工会と共に「産業連絡会議」を開催し、町内産品のPR及び販路拡大を図るため、「ふるさと納税返礼品」として事業拡大することを決定した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	上記の主な施策を実施する中で、「ふるさと納税返礼品」の地場産品希望数は予想以上の結果を得たことから、販路拡大や特産品PR等の支援手法については、庁内各部署及び商工会との連携が重要であることを認識した。
今後の方向性 【ACTION】	中小企業振興資金利子補給制度の継続と、全支援策の実施時期や事業内容等の周知徹底に最善を尽くすとともに、町内企業の現況や要望等を把握し、今後の事業実施の手法や改善点等にも留意していく。

効果検証会議による評価	
意見	・「ふるさと納税」については、報道でもあったとおり総務省が返礼品の過熱にかかる通知があったと思うが、忠岡町としてはどのような方針ですか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	③-2				評価※1		総合評価 ※2		
基本目標	3	安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～			◎	目標値以上	取組内容の継続		
具体的施策	3-①-2	住民雇用に対する企業支援			○	目標値の80%以上			
決算額	300,000円				△	目標値の60%以上	取組内容の検討・見直し		
KPI		H28年度達成率	評価※1		×	目標値の59%以下			
補助事業者数:10社／年		40.0%	×	目標値 実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
						10社	10社	10社	10社
						4社			

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町内企業が町在住の若者を正規雇用した場合の賃金の一部助成	産業まちづくり部産業振興課 決算額		300,000円			

事業目標・概要 【PLAN】	地元企業への住民の就業を進めるために、企業にとってメリットが感じられる支援を行います。	効果検証会議による評価	
実績 【DO】	町内4事業者から住民の正規雇用者6名の給付申請があり、規定に沿って計30万円(一人当たり5万円)の補助(10万円が2社、5万円が2社)を行った。対象となった正規雇用者の平均年齢は32.8歳。	意見	・新たな事業を始められていると思いますが、事業所から様々な支援を希望する声はありますか。
事業内容評価・分析 【CHECK】	本事業は実施初年度であったが、4事業者6名雇用分の申請があったことから、当該戦略事業の1メニューとして継続していくべきと考えている。		
今後の方向性 【ACTION】	次年度における事業実施の周知は、町広報・商工会会報等に複数回掲載を実施していく。	総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	③-3								
基本目標	3	安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～							
具体的施策	3-②-1	就業者及び起業・創業者への支援							
決算額	1,930,000円								
KPI		H28年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
相談等支援者数:100人／年		378.0%	◎	目標値 実績値		100人 378人	100人	100人	100人

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
就職相談や求人情報の提供	産業まちづくり部産業振興課 決算額		0円			
就職フェアや就労セミナーの開催	産業まちづくり部産業振興課 決算額		100,000円			
労働相談の実施	産業まちづくり部産業振興課 決算額		130,000円			
地元就業者の交流の場の提供	産業まちづくり部産業振興課 決算額		200,000円			
忠岡町での創業支援	産業まちづくり部産業振興課 決算額		1,500,000円			

事業目標・概要 【PLAN】	ハローワークや高石市、泉大津市と連携して就職情報フェアを開催するなど、マッチングの場を設けます。また、若手経営者が交流できる場の提供や、就業者に対する相談機能の強化、町内での創業への支援を図ります。
実績 【DO】	岸和田と泉大津のハローワークから毎週届く求人情報冊子の年間持ち帰り冊数は100冊超、町窓口就労相談13件、泉大津・高石との合同開催の「2市1町泉北就職情報フェア」参加者は86人、「女性起業家応援フェア」参加者は80人、労働相談実施人数は5人、「忠岡町労働者協議会」主催行事参加者は61人、国認定の創業支援事業による支援者は25人、起業・創業支援補助金受給者は4人となった。
事業内容評価・分析	H28年4月の広報紙から、「就労相談」「労働相談」のいずれかの周知を可能な限り毎号掲載し、「ふれあい大会」では啓発物品の配布と就労相談ブースの設置を行うなど、相談体制が整備されていることを繰り返しPRした。相談者数の即刻増加とはなら

効果検証会議による評価	
意見	

【CHECK】	ないが、相談業務の継続は根気と周知徹底が必要であり、起業・創業者向けの事業についても手厚い支援体制の継続と周知が必要である。
今後の方向性 【ACTION】	高校や専門学校、大学等、就労直前の最終学歴となる教育機関が存在しない本町では、行政実施の就労相談や支援希望関連の事業は馴染みにくい状況にあるが、周知啓発を繰り返し実施していく。また、本町商工業の活性化のため、今後も起業・創業の掘り起こしを行い、多角的な事業展開が可能なまちづくりに寄与していく。

総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	③-4			
基本目標	3 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～			
具体的施策	3-②-2 就労に向けた能力向上支援			
決算額	179,000円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
補助金申請者数:50人／年		30.0%	×	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

KPI	H28年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
補助金申請者数:50人／年	30.0%	×	目標値 実績値		50人 15人	50人	50人	50人

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
国家資格取得のための受験料の助成	産業まちづくり部産業振興課	決算額		168,000円			
就職困難者と勤労者のスキルアップのための技術講習等受講の助成	産業まちづくり部産業振興課	決算額		11,000円			

事業目標・概要 【PLAN】	就労意欲のある人が安定的に就労・就業できるよう、職業訓練・資格取得などに関する指導や情報提供を行い、受験や講習等に係る経費を支援します。
実績 【DO】	国家資格受験料の助成は12件、技術講習等受講料の助成は3件、計15件の実績となり、在住者11件、在勤者4件であった。
事業内容評価・分析 【CHECK】	目標人数には達していないが、本事業の前制度(職業能力開発奨励補助金)では申請者がほとんどいないレベルであったことを鑑みると、本事業の開始により15件の申請があった意味は大きく、スキルアップ希望者に対する支援策として継続するべきと考える。
今後の方向性 【ACTION】	町広報紙やHPへの掲載と商工会会報に同封するチラシを今後も継続し、本事業の周知徹底を進めていく。

効果検証会議による評価	
意見	・国家資格取得の受験料や、スキルアップのための講習受講の助成については、広報・HP・会報による周知以外の方法も考えてもらいたい。 ・新たな事業を始められていると思いますが、就労に向けた住民の希望はアンケートなどで聞いていますか。 ・住民の声を反映できる施策ができれば、申請者の数も増加すると思います。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	③-5				評価※1		総合評価 ※2		
基本目標	3	安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～			◎	目標値以上	取組内容の継続		
具体的施策	3-②-3	女性の働く機会の拡大支援			○	目標値の80%以上			
決算額	400,000円				△	目標値の60%以上	取組内容の検討・見直し		
KPI		H28年度達成率	評価※1		×	目標値の59%以下			
受講人数:20人/年		155.0%	◎	目標値 実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
						20人	20人	20人	20人
						31人			

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
就職相談や求人情報の提供	産業まちづくり部産業振興課 決算額		0円			
資格取得を目的とした専門講座の開設	産業まちづくり部産業振興課 決算額		400,000円			

事業目標・概要 【PLAN】	就労意欲のある女性の就労・就業を支援するために、職業訓練・資格取得などに関する相談や情報提供を行うなど支援の充実を図ります。
実績 【DO】	資格取得を目的とした専門講座は毎年実施しているが、講座内容はこれまでの受講者の要望や社会状況等により決定しており、28年度は日商簿記検定3級資格取得講座(19名受講)と弥生式会計実践セミナー(12名受講)を実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	日商簿記検定3級資格取得講座の受講者19名のうち15名が検定受験、8名が合格した。その後の弥生式会計実践セミナーも引き続いて受講する希望者も多く、一定期間をかけて知識を習得し資格獲得を目指す希望者が多い。
今後の方向性 【ACTION】	町内企業の意向や雇用情勢等を参考に事業の実施内容を毎年検討するとともに、事業実施前の周知案内等は徹底して行っていく。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	④-1				評価※1		総合評価 ※2		
基本目標	4 訪れたくなるまち、住みたくなるまち(交流)～子育て世代が移住したくなるまち～				◎	目標値以上	取組内容の継続 取組内容の検討・見直し		
具体的施策	4-①-1 定住・移住促進のための支援				○	目標値の80%以上			
決算額	5,610,000円				△	目標値の60%以上			
					×	目標値の59%以下			
KPI		H28年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
住宅取得助成申請件数(うち転入世帯数):20件/年(12件/年)		150.0%	◎	目標値	45件	20件	20件	20件	20件
				実績値	20件	30件			
		108.3%	◎	目標値	(20件)	(12件)	(12件)	(12件)	(12件)
				実績値	(10件)	(13件)			
住宅リフォーム助成申請件数(うち転入世帯数):10件/年(6件/年)		70.0%	△	目標値		10件	10件	10件	10件
				実績値		7件			
		0.0%	×	目標値		(6件)	(6件)	(6件)	(6件)
				実績値		(0件)			

主な施策		担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
子育て世帯等への住宅取得の助成		産業まちづくり部建設課	決算額	3,550,000円	4,930,000円			
子育て世帯等への住宅リフォームの助成		産業まちづくり部建設課	決算額		680,000円			

事業目標・概要 【PLAN】	子育て世帯のニーズを充足することができよう、各種助成を推進します。	効果検証会議による評価	
実績 【DO】	子育て世帯等への住宅取得の助成は想定より10件、転入も1件多かった。住宅リフォームの助成は、目標を下回った。	意見	・町内では、空き地などの造成があらこちらで行われており、順調に戸建住宅が建築されている。
事業内容評価・分析 【CHECK】	住宅取得に関しては、一定の効果があったと思われる。		・住宅取得助成の開始から、多くの住宅が建設されたことにより、本制度は目標に到達したと思います。しかし、住宅リフォーム助成については、転入世帯がないので十分な周知をお願いした

今後の方向性 【ACTION】	住宅取得の助成は本年で3年目となり、一定の効果があつたことから、助成制度完了を検討する。住宅リフォームの助成については、十分に周知ができていないこともあり、次年度も継続する方向で検討する。
--------------------	--

	い。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	④-2				評価※1		総合評価 ※2		
基本目標	4 訪れたいまち、住みたいまち(交流)～子育て世代が移住したいまち～				◎	目標値以上	取組内容の継続 取組内容の検討・見直し		
具体的施策	4-②-1 忠岡町の魅力づくり				○	目標値の80%以上			
決算額	2,120,484円				△	目標値の60%以上			
					×	目標値の59%以下			
KPI		H28年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
イベント参加者数:600人/年		122.0%	◎	目標値 実績値	300人 112人	600人 732人	600人	600人	600人
正木美術館入館者数:2,300人/年		92.3%	○	目標値 実績値	2,700人 2,783人	2,300人 2,123人	2,300人	2,300人	2,300人

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
ウォーキングコースの整備とイベントの開催	教育部生涯学習課	決算額	2,951,143円	90,484円			
地域の歴史・文化資源(だんじり祭、正木美術館)の魅力発信事業	教育部生涯学習課	決算額		1,430,000円			
みなとマーケットの活性化	産業まちづくり部産業振興課	決算額		600,000円			

事業目標・概要 【PLAN】	効果検証会議による評価	
地域・歴史・文化的資源を体系的に把握し、魅力ある文化情報として、住民だけでなく町外へも発信します。	・観光誘致、定住促進のためのプロモーションについて、具体的なイベントや情報誌の想定はありますか。	
実績 【DO】 【生涯学習課】 文化会館の花の講座(全3回)を正木美術館において開催した。 また、忠岡神社、寺院、みなとマーケットの見学をコースに取り入れたウォーキングイベントやだんじり祭り時に地車連合会と協力し観覧席、模擬店出店、ただお課長グッズ販売のおもてなしイベントを開催し、町の魅力を町外に発信した。 【産業振興課】 フリーマーケット(参加店舗数19)の開催と鮮魚販売に加え、テーブルセットとテントを新調して設置し、来場者の受入体制を整備するとともに、無料試食や漁船による大阪湾無料周遊(参加者計330人)等のイベントも新たに実施し、みなとマーケットは計3回開催した。		

事業内容評価・分析 【CHECK】	【生涯学習課】 ウォーキングイベントの参加者は141人で、うち町外は11人であり、おもてなしイベントでも町外は数人であった。 ウォーキングイベントやおもてなしイベントは、アンケート結果で楽しかった、また参加したいとの声が多く、概ね好評であった。 【産業振興課】 会場は開催時刻前から買い物客で賑わっており、無料試食や大阪湾周遊には家族連れなどが多く参加するなど、来場者の年齢層が広がった。また、新メニューの実演販売やお買い得品タイムセール等の実施により、買い物客が満足感を得やすい仕組みを設定した結果、町外からの来場者も増加中である。
今後の方向性 【ACTION】	【生涯学習課】 町の魅力アップに繋がるイベントの開催とイベント情報誌への掲載を行っていく。 【産業振興課】 漁協側の人件費等の経費削減と、町内行事や各種イベントとの同時開催を避けるため、みなとマーケットは第5日曜日のみとし年3回程度の実施となったが、周知徹底を図るため、町広報紙には事前の開催通知と事後の状況報告を掲載するとともに、庁舎内ポスター等の掲示を継続するとともに、その他PR手法についても検討していく。

意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)効果検証シート

No.	④-3			
基本目標	4 訪れたいまち、住みたいまち(交流)～子育て世代が移住したいまち～			
具体的施策	4-②-2 忠岡町の魅力発信			
決算額	1,050,446円			
KPI		H28年度達成率	評価※1	
イベント・デザイン使用回数:50回／年		130.0%	◎	目標値 実績値

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
忠岡町イメージキャラクターの各種イベント参加及び貸出し	産業まちづくり部産業振興課 決算額		1,050,446円			
忠岡町イメージキャラクターデザインの有効利用の促進	産業まちづくり部産業振興課 決算額		0円			

事業目標・概要 【PLAN】	忠岡町の魅力を効果的に発信するため、イメージキャラクターの一層の活用を図ります。
実績 【DO】	町行事及び貸出等によりイメージキャラクターが参加したイベントは42件、デザインの使用申請件数は23件となった。
事業内容評価・分析 【CHECK】	これまでの各種報道や町立小学校副読本への掲載等により、町内はじめ泉州地域での知名度は上昇した。イベント時での写真撮影希望者や外部団体からの貸し出し頻度は増加し、各団体や個人によるデザイン活用の相談も増えてきている。本町実施の公的グッズ販売額は465,730円、物販を開始した平成25年以降の累計販売額は1,642,837円となった。
今後の方向性 【ACTION】	町PRはじめ、行政各般においても適宜イメージキャラクターの効果的な活用が定着し、まちづくりのツールとして一層魅力的な存在となっていくよう創意工夫に努める。

効果検証会議による評価	
意見	・観光誘致、定住促進のためのプロモーションについて、具体的なイベントや情報誌の想定はありますか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)新規施策の効果検証シート

No.	⑤-1		
事業名	忠岡町ブランド創造事業		
担当部課名	町長公室自治政策課	補助金の有無	有
補助金名	地方創生推進交付金	補助率	対象事業費の1/2
事業期間	H28.12～H31.3 (3カ年)		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	5,665,520円		
国庫補助額	2,828,734円		
KPI 最終目標値 (H30年度)	参画企業数 : 9社 実験栽培の成功種類 : 8種類 売上高 : 12,000,000円		

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

KPI項目	H28年度達成率	評価※1		H28年度	H29年度	H30年度
参画企業数	1050%	◎	目標値	2社 (2社)	3社 (5社)	4社 (9社)
			実績値	21社 (21社)		
実験栽培の成功種類	—	—	目標値		3種類 (3種類)	5種類 (8種類)
			実績値			
売上高	—	—	目標値			12,000,000円
			実績値			

事業目標・概要 【PLAN】	忠岡町商工会を事業推進主体として、忠岡町ブランドとなる「きのこ」を創造するため、大学、金融機関や企業と連携して量産方法、販売ルートやエコ栽培方法などを研究し、町内企業などの参画による「忠岡町ブランド」を全国に発信する。
実績 【DO】	2月に、「きのこ」の栽培研究に精通した甲南大学の教授による基調講演を行い、参画企業の募集を行った。 実験栽培施設を改修し、栽培用備品や消耗品を整備した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	本事業に係る参画企業者を募集したところ、2月に開催した基調講演の影響もあり、当初目標(2社)としていた以上の参画企業者(21社)が集まり関心の高さが伺えた。

効果検証会議による評価	
意見	・今後のスケジュールは、どうなっているのでしょうか。できるだけ早く生産できるようにお願いしたい。
	・コンセプトは大変面白く、また、関心としては高いものと思いますが、今後の具体的な展開を教えてください。

今後の方向性 【ACTION】	集まった参画企業者(21社)は、ほとんどが「きのこ」栽培について未経験であるため、平成29年度から始める「きのこ栽培」技術者による実験栽培へ参加することにより栽培技術を習得するとともに、更なる関心を持ってもらう。また、コーディネーターによる販路開拓を行い、参画企業に起業を促す。
--------------------	---

総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度)新規施策の効果検証シート

No.	⑤-2					
事業名	泉州地域観光DMO事業					
担当部課名	町長公室自治政策課		補助金の有無		有	
補助金名	地方創生加速化交付金		補助率		対象事業費の10／10	
事業期間	H28.8～H29.3(1ヵ年)【H28.8～H34.3(6ヵ年)】					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
決算額	5,020,670円					
国庫補助額	5,020,670円					
KPI 最終目標値 (H33年度)	訪日外国人における泉州の認知度 : 40% 着地型観光の参加者数 : 年間延べ3,000人(※33年度以降)					

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価※2
取組内容の継続
取組内容の検討・見直し

KPI項目	H28年度達成率	評価※1		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
訪日外国人における泉州の認知度	33%	×	目標値						40%
			実績値	13%					
着地型観光の参加者数	—	—	目標値						3,000人
			実績値						

事業目標・概要 【PLAN】	泉州観光プロモーション推進協議会(泉州地域9市4町)を実施主体として、や、関西エアポート(株)等とともに、関西国際空港に近い利点を最大限に生かすための方策について検討し、実行に移すための組織として、(仮称)泉州観光DMOを設立し、経済の活性化、雇用の創出、農業・漁業の振興を目指す。
実績 【DO】	【DMO立ち上げに向けた調査研究】 関西国際空港に到着した外国人旅行客の行動パターンの把握、宿泊場所の状況調査、戦略の策定、マーケティング調査を実施した。 【泉州における新たな観光資源の発掘、プロモーションの実施】 現地旅行エージェントを活用したセールスコール及びファミトリップを実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	泉州地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役が必要である。また、客観的情報に基づく観光戦略の策定と戦略を着実に実施するための調整機能を備えた組織が必要である。

効果検証会議による評価	
意見	・今後、海外の方に泉州を知ってもらう有効な手立てを考える必要がある。

今後の方向性 【ACTION】	効果の高い取組事業の選択と集中により、泉州地域が一丸となった戦略の策定や推進を行う。また、観光で収益を生む仕組みの構築を行う。
--------------------	---

総合評価 ※2	
------------	--